

☆ 中 国

**生産設備** 恒逸集団、ナイロンプロジェクトを着工

このほど、浙江恒逸集団がナイロン6チップ工場を正式に着工した。同工場の設備能力は年産16.5万トン、同プロジェクトには、恒逸集団のほか、開元紡織、北京三連虹普などが出資している。工場は浙江省杭州の臨江工業圏の恒逸集団が進めているカプロラクタム第一期プロジェクトと川を隔てた対岸に位置しており、同集団の第二期カプロラクタム工場とは隣接する位置にある。このカプロラクタム工場からのパイプラインによって直接、原料を同プロジェクトの重合ラインに送ることができるため輸送面での優位性が高いという。

同工場には、世界最先端の2ステップ法重合技術や並列乾燥、脱重合回収利用技術などが導入され、差別化の紡織用高速紡糸用ナイロン6チップを生産することができる。

恒逸集団は、カプロラクタム工場稼働によって、中国で唯一ポリエステルとナイロンの産業チェーン(双産業チェーン)の整備を進めているが、今回のプロジェクトが完成すると、双産業チェーンがさらに強固となるとしている。

**合繊需給** スパンデックス能力、年産55万トンに

中国のスパンデックスの年産能力は、2014年は5~6万トンの新增設がある見込みで、年末には55万トン程度となり、さらに2015年末は60万トンに達すると推定されている。

浙江華峰スパンデックスは重慶のスパンデックス工場の試運転に成功。設備能力は年産3万トン(第1期)、2014年末までに稼働開始の予定である(海外速報2014年11月20日)。

CCFGroupによると、2014年の新規稼働分は2015年に入り本格的に販売されることになるが、ちょうど春節の休暇時期に当たるため、需要は伸びず、価格のさらなる低下が予想される。

スパンデックスの在庫水準は高レベルで推移している。在庫は35日程度に積み上がっている模様である。スパンデックスの収益は依然良好なため、メーカーは生産を落とすことに躊躇していると言われている。川下は、金融引き締め、受注の減少から稼働率を落としており、今後の需要の軟調が懸念されている。

## ☆ インド

### **販 売** NatureWorks、インドで *Ingeo* を本格販売へ

米 NatureWorks と Northern Technologies International Corporation は協同で、インドおよび周辺国（バングラデシュ、パキスタン、スリランカ等）で *Ingeo* をマーケティング、販売する。インドでの初の *Ingeo* の大型販促となる。当初は、包装用フィルムおよび容器（ヨーグルト容器等）向けを重点に販売する。

Northern Technologies International の子会社である Natur-Tec India Pvt. Ltd. が主体となってマーケティング、販売活動に当たる。Northern Technologies は 2006 年より、インドにおいて、バイオベースでコンポスト可能なフィルム、射出成形用樹脂、エンブラを販売している。NatureWorks は今後、多国籍企業の参加する合同販売ミーティングの開催、技術指導、*Ingeo* 樹脂の提供を通じ、Natur-Tec のインド国内での販売活動を支援する。

*Ingeo* はポリ乳酸 (PLA) で、プラスチック、フィルム、繊維用等に使用される。NatureWorks はタイを有力候補に、アジアでの PLA 工場建設を検討している。また、Corbion Purac がタイを候補地に PLA の新工場を検討していると伝えられている。投資額は約 6,000 万ユーロで、生産能力は年産 7.5 万トンの程度が予定されている模様である。

以上